

宝達志水町における公共交通の方向性

コミュニティバスの課題

- ・ **宝寿荘利用者がほとんどであり、日常的な買い物などで利用が少ない**
- ・ スクールバス利用であり、利便性向上が難しい（便数やルート拡大が困難）
- ・ バス停位置の制約や乗り心地が悪いなど、高齢者が利用しづらい
- ・ 無料運行のため、運営の持続性に欠ける

デマンドタクシーの課題

- ・ コミュニティバスに比べ **料金負担があり、利用のハードル** になっている
- ・ 乗車人数に限られる為、 **集中的な需要（宝寿荘）には対応が難しい**
- ・ 予約が必要で、非利用層には心理的ハードルがある（要確認）

町民（高齢者）の移動ニーズ

- ・ **宝寿荘へのアクセス**
- ・ 総合病院（羽咋病院、宝達志水病院）へのアクセス
- ・ 日常的な買い物やクリニック等へのアクセス

※その他、町民アンケートで課題とニーズ確認

【今後の方向性】

論点1：日常的な買い物等といった、生活利便性の向上のための公共交通手段の確立

⇒運行方法が限られるコミュニティバスでは、日常的な買い物等での利用が難しいため、デマンドタクシーを軸に検討する。

⇒デマンドタクシーの利便性向上策として、**①コミュニティバスとの料金格差の見直し**、**②定時便の運航**を検討する。

論点2：宝寿荘利用者などの特定ニーズに対応した移動手段の確立

⇒デマンドタクシーを軸とした場合、デマンドタクシーの輸送能力では、例えば宝寿荘利用者のピーク需要に対応できないため、スクールバスを活用して特定ニーズ用の送迎バスを運行することが考えられる。そこで、**③町内の一定の需要がある特定ニーズを確認し、特定ニーズ用の送迎バスの運行**を検討する。